

二宮中学校 学校運営協議会 議事録

開催日時：令和4年11月11日（金）15：30～17：00

開催場所：二宮中学校 会議室

出席者：加山委員（会長）、石井委員、川上委員、稲子委員、関口委員、三枝委員、遠藤委員、小田委員、伊庭委員（校長）、岸委員（教頭）、加藤委員、大森委員（副会長）、峯尾委員、嘉山委員、吉田、野崎、山田、高橋（教育総務課）

議題：（1）学校運営協議会の運営等について

○「学習支援」について状況説明

定期テスト前に、学習支援として学習相談をしている。

二宮高校の生徒へ依頼、地域の方々にも協力をお願いしている。

実施方法について、今年度は試行期間として模索している。

（委員）2学期の中間テスト前の学習相談に、参加して下さったボランティアの方にアンケートを行った。今後の参考にしたい。

良い取り組みだと思うので、今後もより多くの生徒が参加してくれると良い。

（委員）生徒はワークの学習や教員からの課題に取り組んでいた。

3年の期末試験前は教室で行っていたこともあり、自分としては入りにくいこともあった。

（委員）英語の暗誦チェックを行った。参加している生徒は熱心に取り組もうとする意欲を感じた。生徒から積極的な質問などはなかった。

もっとたくさんの生徒が参加してくれると良い。生徒と顔なじみになれると質問等もしやすいのではないか？

（委員）参加してくれた高校生は同じ生徒か？

→ 一度だけという生徒やほぼ毎回という生徒がいる。

（委員）二宮高校のテストとは日程が重ならないのか？

→ 高校に学習相談の年間計画を示した際に、そのような話はなかった。

○「施設修繕」について状況説明

・文化の部当日に委員と地域の方で学校施設を見学し、その前日に破損した4階音楽室のカーテンレールの修繕をしていただいた。

・年間を通した計画的な修繕計画に盛り込んでいきたい。

・グラウンドにある避難時の地区名とクラス名の表示をしっかりとしたもので設置したので、今後詳細を相談したい。

（委員）私を通して地域の方に連絡し、今後の詳細を決めてほしい。

（委員）町内で何かできる人はいないかという声掛けをするのはどうか？

コミュニティ・スクールの形を活かして町民との繋がりを持ちたいということアピールしてはどうか？

回覧や掲示板を活用し、地域の人たちに学校がこんなことをしているので、協力してくださいということを広めてはどうか？

地域に学校がやっていることをアピールして、地域の方の得意なこと（好きなこと）を活かして参加していただける枠組みを作るのはどうか？

(委員) 今のお話がコミュニティ・スクールのゴール。様々な方法でアピールして人材バンクを作り、地域の方に学校運営に参加していただく。そこに至るには時間がかかる為、今年度は3本柱に重点を置いて取り組んでいく。ゆくゆくはそうなっていければよいのではないか。

(委員) 周知が課題である。

(委員) 回覧を回すことは容易にできるのか？

→地区長へ印刷したものを依頼すれば可能である。

(委員) DIYアドバイザーの活用は可能か？

→教育総務課としては、作業自体は無償、材料費等の負担だけであれば可能である。

○「防災」について状況説明

・学校防災安全計画の見直しや講演を矢崎氏に依頼していたが、都合により井上氏に講師変更。

12月21日(水) 15:00~17:00

場所：二宮中学校体育館

対象：二宮中保護者、地域の方、教職員

二宮小、一色小の教職員及び学校運営協議会委員

テーマ：「災害と地域・学校」

中学校や小学校が地域に何ができるのか、逆に地域が学校に何をしなければいけないのか。

消防団での経験の観点からも話していただける。

各地区の地区長さんに依頼(11月20日)、回覧配布(11月25日)の予定。

今後、地区長への周知方法は要検討。

○各担当の分担について

学習支援(小田委員・関口委員・嘉山委員・加藤委員)

施設修繕(遠藤委員・稲子委員・大森委員)

防災(川上委員・三枝委員・峯尾委員)

以上、学校運営協議会の運営等について承認

(2) 部活動について

- ・令和4年度の部活動について説明。
- ・部活動のきまりは4月に保護者、生徒に配布している。
- ・二宮町の部活動ガイドラインに則って、平日に1日、休日に1日、休養日を設け、平日2時間、休日3時間活動している。
- ・顧問は原則複数顧問(掛け持ちもある)
- ・集団競技よりも個人競技に人気がある傾向。野球部は人数も少なく、二宮西中学校との合同チームで行っている。
- ・令和5年度より、段階的に地域移行が進められる。アンテナ高く情報を集めていきたい。

(委員) 地域移行の町の状況は？

→一部の部活動で試験的に実施できないか検討中。二宮町のスポーツ協会の会長に相談し受け皿となる団体があるのか調整をしている。すぐにできるものではないため、受け皿や費用の面の課題も整理しなければいけない。来年度すぐに実行という話にはなっていない。予算の面等も含めて検討しなければならない。

→二宮町のスポーツ協会は16団体ある。令和5年度は、部活動に協力している人がいる団体を中心に試行していく。

(3) 学校評価について

・毎年行っている学校評価を今年度も実施する。Google フォームを使い、面談等で周知していく。まとめた内容は第4回の学校運営協議会で提示する予定。

(委員) 内容は去年と変わっているか？

→大きくは変更していない。

以上、学校評価の実施について承認

(4) 小中一貫教育について

・分離型小中一貫教育校を来年度から設置。準備委員会で検討、決定された内容を提示。

(委員) 教職員は一貫教育をどう考えているのか？負担が大きくなると考えているのではないか？

→教員の負担が大きいという意見と、新しいことを始めるにあたって負担が増えることは当然であるという意見もある。

教職員が取り組んでいることとして各教科でグループを作ってカリキュラムについて研究し、検証授業を行っている。異校種体験交流事業も行っている。負担を感じさせないためには、それを行う目的と価値、メリットを示すことが大切ではないか。

→負担もあるが、良い部分もある。他校へ出張すると教員不足が生じて困る部分もある。そこを補う仕組みを作っていきたい。今年度の検証で出てきた課題を一つ一つ、教職員の意見も聞きながら町教育委員会として解決していきたい。

(委員) 新しいことを始めるにあたって、何かを無くすということもしているのか？

何かを追加したら、何かを無くすということも検討していただきたい。

→子供たちの為だといって必然的に負担が大きくなる傾向がある。地域の方と一緒に何を削ったらよいかを考えていきたい。

(委員) 準備委員会は管理職のみではなく、他の教員や多職種を入れて意見を出し合う場を設けることも必要ではないか。

→考えなければいけないことだが、教職員の出席となるとまた負担が増える。

管理職が会の報告をする際に意見の吸い上げをする等、工夫をする。

(5) その他

①3月4日はらっぱマルシェでの中学生ブース設置について説明

・中学生の地域とのかかわりが減っている。地域のイベントに参加し、自分たちのプレゼン

力を生かしてやりたいことを表現してほしい。同時に地域の声も聞いてほしい。

- ・協議会は、出展料として1000円～3000円を捻出できるか。
- ・あまり学校に足が向かない子の表現の場になれば良い。

(委員) 実施まで期間もある為、誰が窓口となって動くのか等も含めて要検討

(委員) 二宮西中学校も参加する。中学校同士の横の繋がりがあってよいのではないか。

はらっぱマルシェへの参加について承認

②ウインターフェスティバルの実施について

・学校運営協議会に後援についていただきたいという依頼が実行委員会よりあった。

(委員) 実施まで1か月もなく期日も少ないため、協議会の後援というのは厳しいのではないか？

(委員) 後援が付かないと学校でのお知らせの配布は難しいか？

→配付物は厳選することを心掛けている。

(委員) 資料中の「実施の経緯」の内容がよくわからない。秋祭りを実施して好評だったのであれば今年度も可能ではないか？

(委員) 協議会は地域と学校を繋ぐものである。今年度は「学習支援」「施設修繕」「防災」という3本柱で取り組んでいる。秋祭りはどちらかという、保護者が子供の為にやることなのではないか。子供が楽しい活動を応援するのは良いが、協議会の趣旨とはズレるのではないか？

(委員) 協議会は、今年度は計画的に活動に取り組んでいきたいと考えている。教職員への周知も含めて時間が足りない。

(委員) P T A が後援に付くことは可能か？

→時期的に難しいのではないか？次回の本部会・実行委員会は1月。

以上、承認せず

4 閉会